

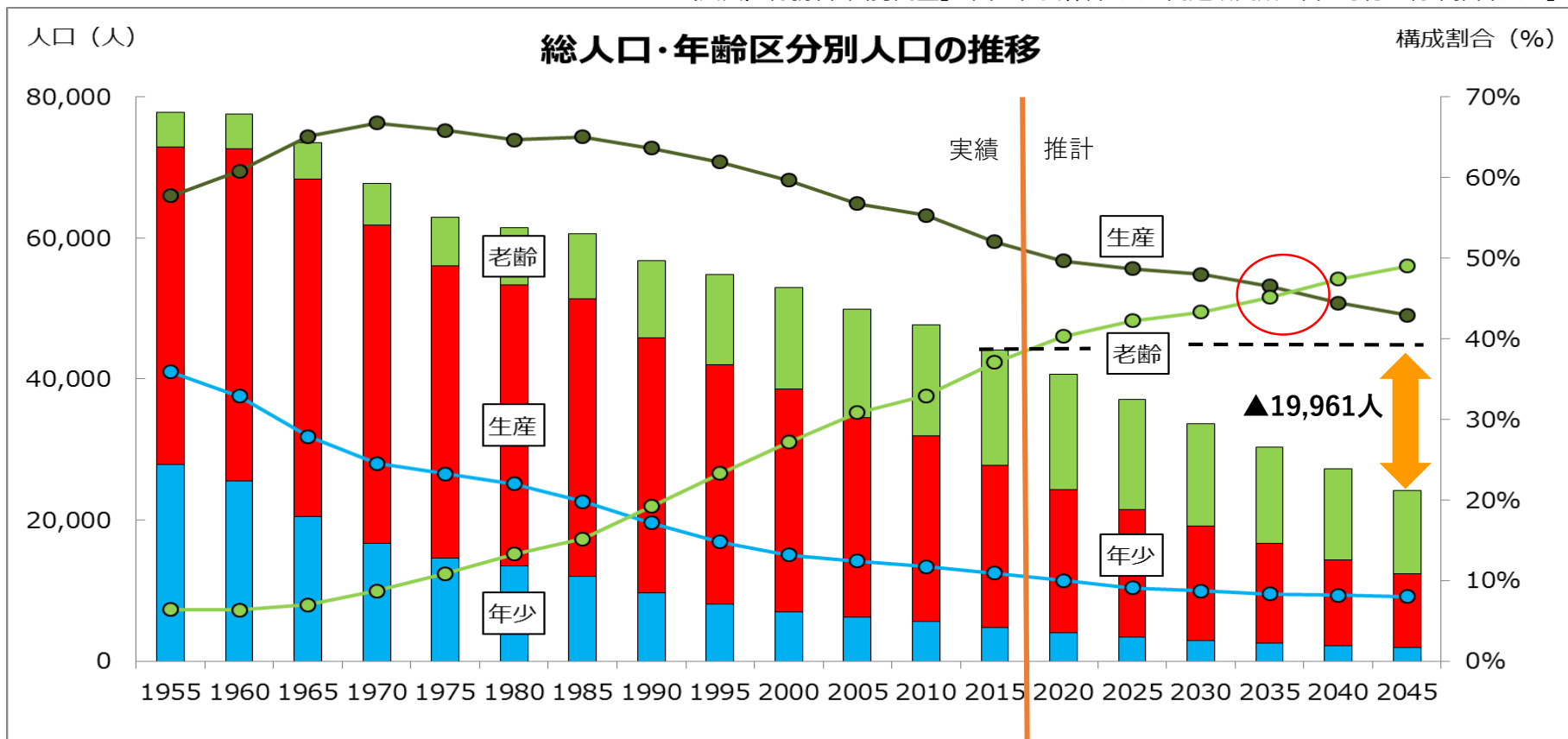
糸魚川市の現状

～これからの地域課題の解決に向けて～

糸魚川市

糸魚川市の人口展望①

(出典) 総務省「国勢調査」・国立社会保障・人口問題研究所「市区町村別将来推計人口」



年度	1955	1960	1965	1970	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
年少	27,938	25,504	20,490	16,630	14,620	13,531	11,993	9,733	8,101	6,983	6,181	5,591	4,816	4,066	3,379	2,928	2,529	2,222	1,943
生産	44,969	47,217	47,863	45,262	41,429	39,774	39,428	36,153	33,917	31,636	28,284	26,396	22,972	20,222	18,086	16,182	14,151	12,087	10,389
老齢	4,971	4,920	5,128	5,893	6,848	8,183	9,191	10,912	12,762	14,402	15,379	15,715	16,374	16,408	15,686	14,594	13,722	12,902	11,869
総人口	77,878	77,641	73,481	67,785	62,900	61,488	60,612	56,803	54,780	53,021	49,844	47,702	44,162	40,696	37,151	33,704	30,402	27,211	24,201

糸魚川市の人口展望②

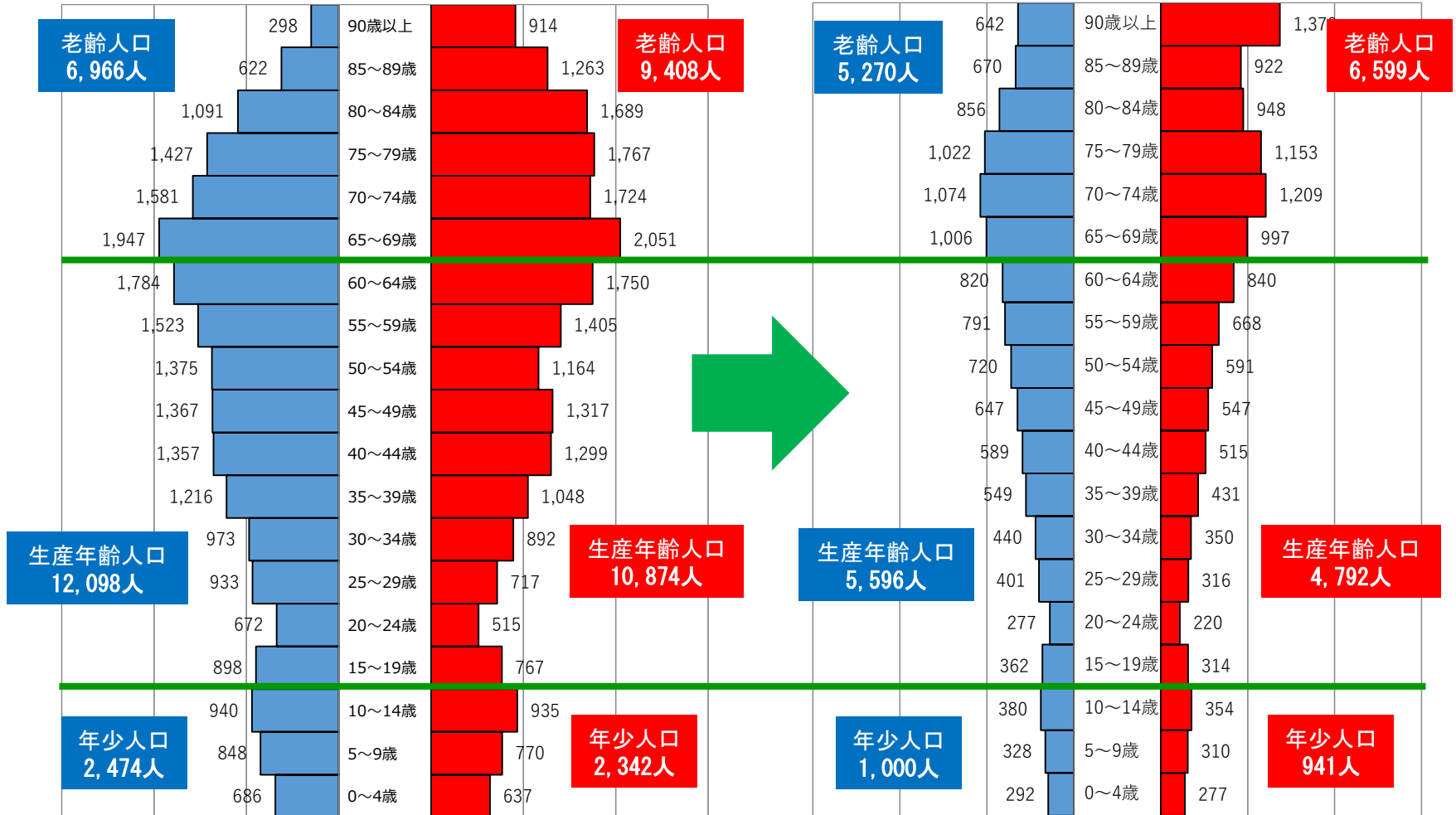
(出典) 総務省「国勢調査」・国立社会保障・人口問題研究所「市区町村別将来推計人口」

【2015年】 **44,162人**

【2045年】 **24,201人**

0 1,000 2,000 3,000

0 1,000 2,000 3,000



3,000 2,000 1,000 0

3,000 2,000 1,000 0

■ 男性 ■ 女性

26年後の状況

24,201人 (2045年) の意味

H27年 (2015年) 国勢調査 (直近)

全体人口 44,162人

糸魚川地域 27,288人

能生地域 8,542人

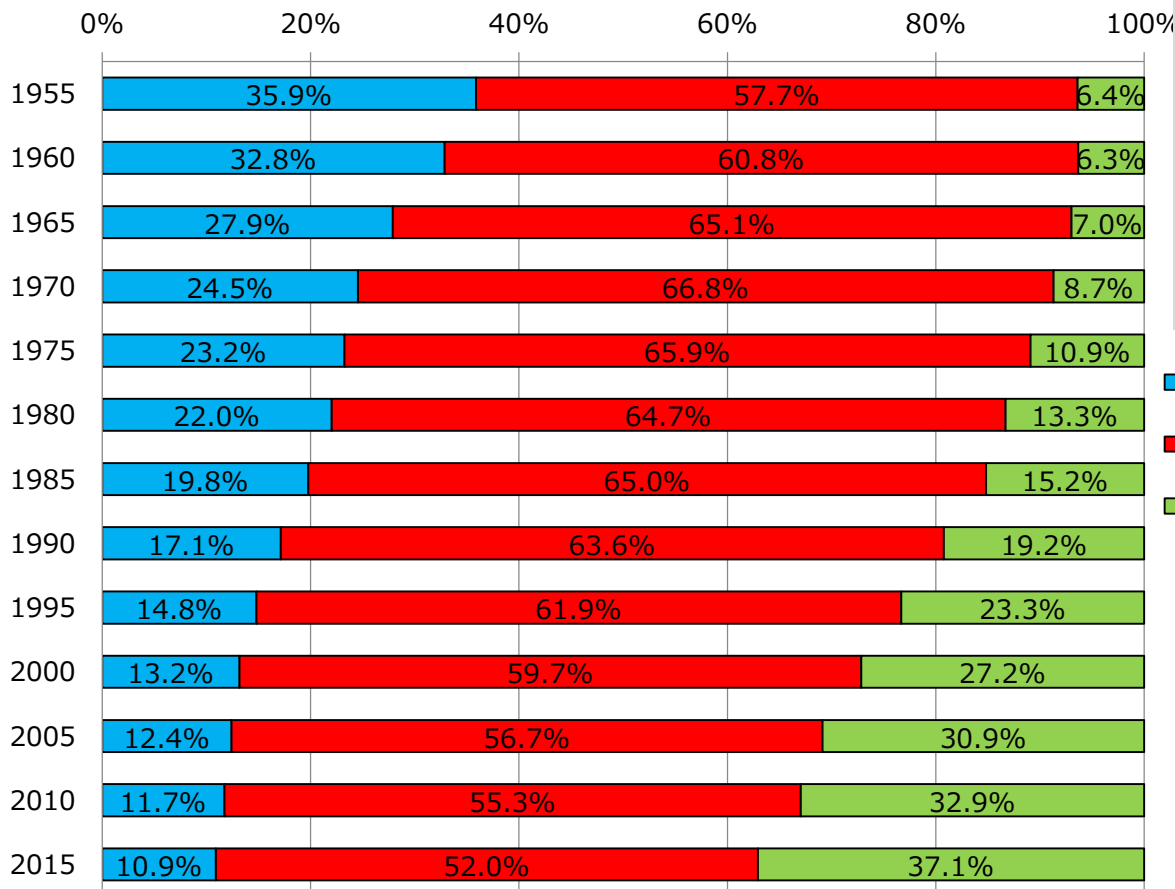
青海地域 8,332人

現在の人口に匹敵する人数が丸ごといなくなる規模感！

- 生活に関わる福祉、医療、教育や、公共施設、道路、水道などのインフラ、そして、高齢化の進んだ集落はどうか？
- 今までどおりの暮らしが可能か？

糸魚川市の人口の現状③

年齢3区分別人口



【参考】 全国平均

年少人口割合 **12.6%**
 生産年齢人口 60.7%
 高齢人口 **26.6%**

(出典) 総務省 平成27年国勢調査
 人口等基本集計結果 結果概要 全国の年齢別人口

■ 年少人口
 ■ 生産年齢人口
 ■ 高齢人口

全国平均を30年
 上回るスピード

なんでもランキング

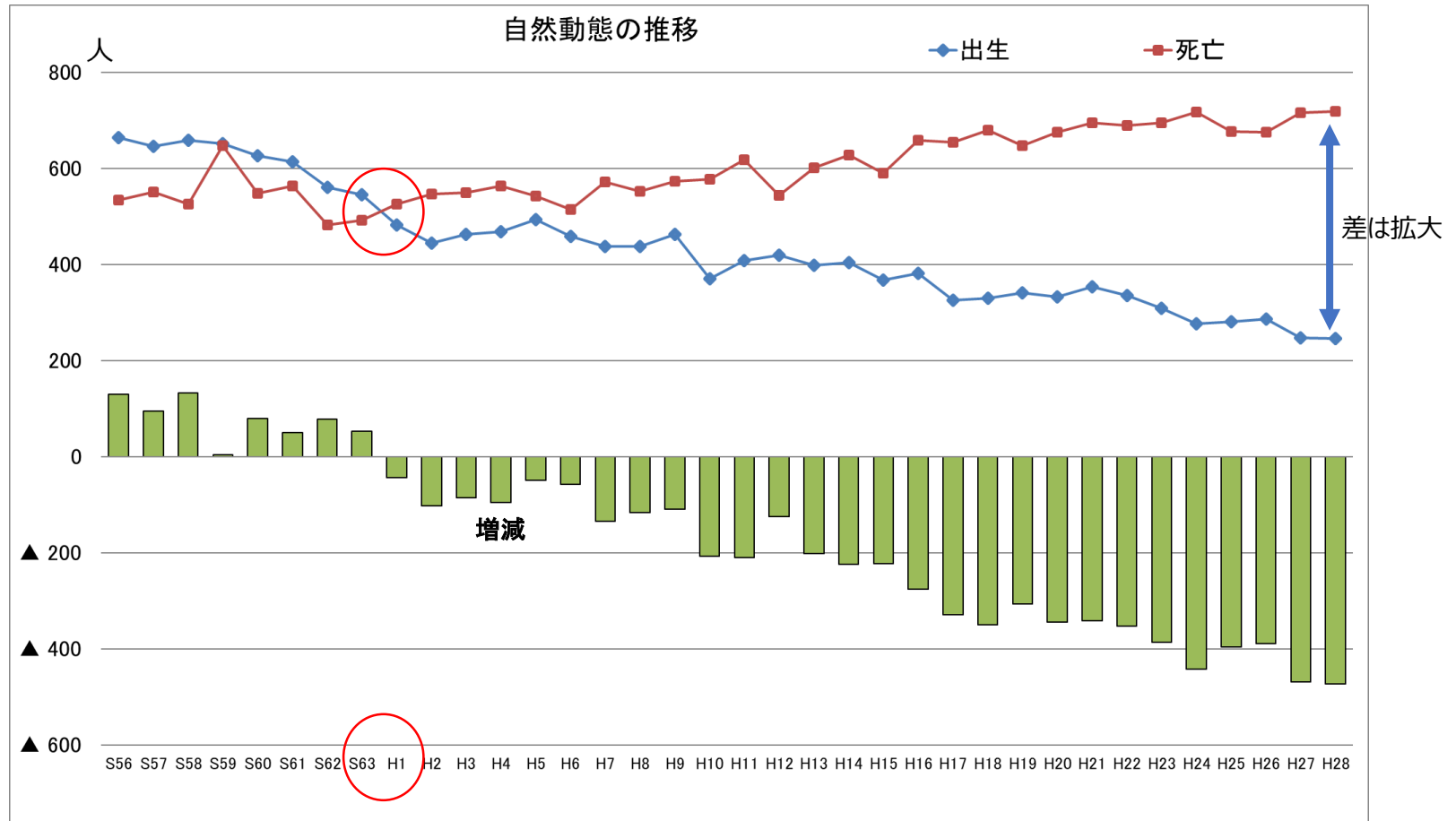
老年人口割合 60位
 生産年齢人口割合 749位
 年少人口割合 713位
 (全国815市区での順位)

1955年 (昭和30年) と2015年 (平成27年) を比較すると
 年少人口の割合は、約 3 分の 1 **35.9% → 10.9%**
 高齢人口の割合は、約 6 倍 **6.4% → 37.1%**

(出典) 総務省 国勢調査

糸魚川市の人口の現状①

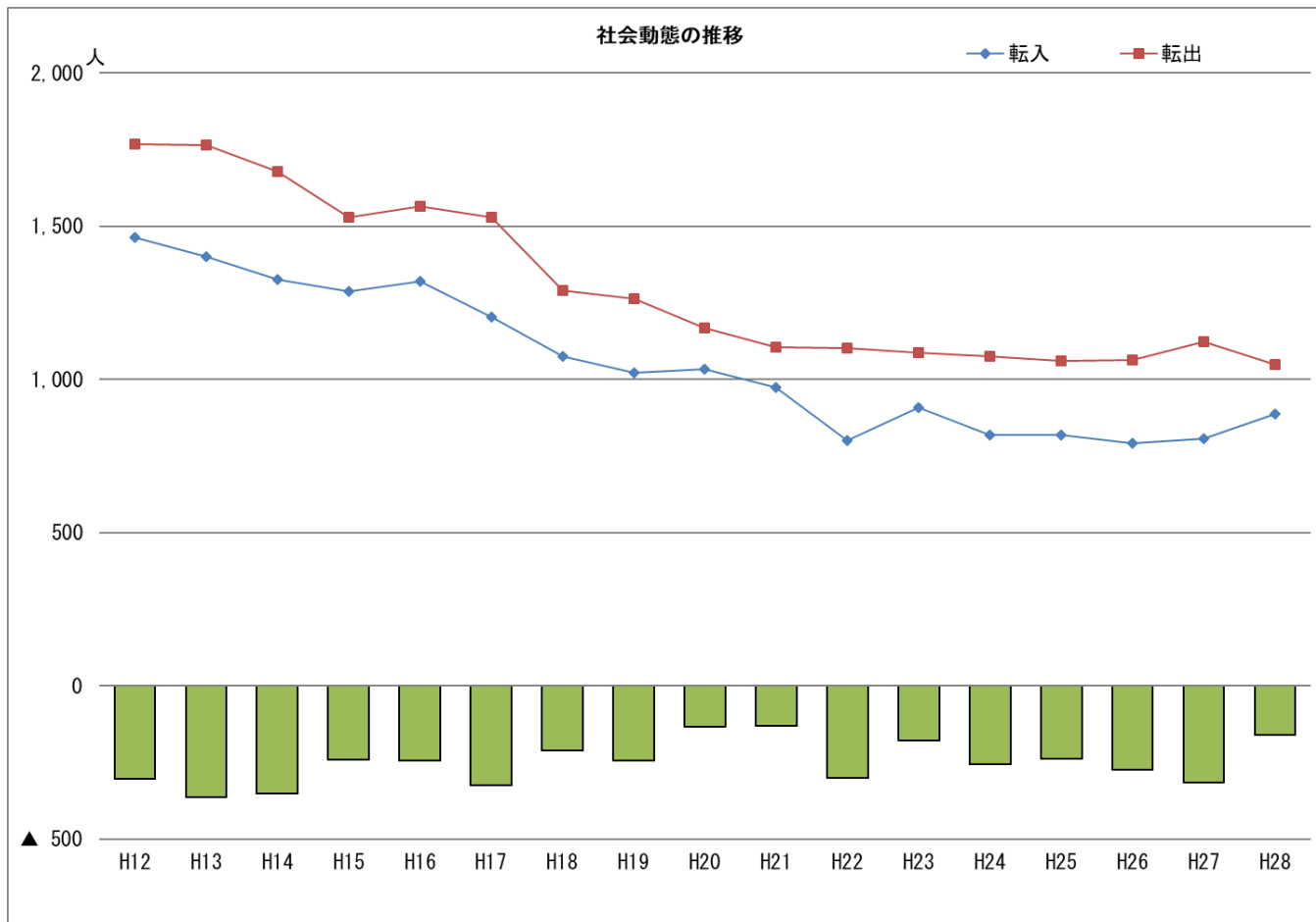
自然動態



平成元年以降、死亡者が出生者数を上回る自然減が続いている。
死亡者数と出生者数差は拡大の一方。H28で△473

糸魚川市の人口の現状②

社会動態



転出が転入を上回る人口の社会減が続いている。
毎年、200～300人程度減少している。

人口減少の影響

人口減の影響は様々なところに。
(影響はリンクしている)

企業

- ・ 人手、後継者不足
- ・ 労働力の低下
- ・ 設備投資の減少

商業・経済

- ・ 住宅需要の減
- ・ 小売額の減少
- ・ 閉店による買い物難民増

金融

- ・ 貯蓄率の低下
- ・ 貸付余力の低下

行財政状況の悪化

- ・ 税収減
- ・ 地方交付税減
- ・ 公共サービスの低下

医療・福祉

- ・ 一人当たりの医療費、介護給付費の増
- ・ なり手人材の不足
- ・ 現役世代の負担増

出産・子育て

- ・ 産婦人科の維持が困難
- ・ 子育ての交流機会減少

教育環境

- ・ 複式学級増
- ・ 部活動の減少、廃止
- ・ 学校の統廃合

地域

- ・ 共助機能の低下
- ・ 防災力の低下
- ・ 集落の維持が困難
- ・ 伝統文化の継承困難
- ・ 空き家、里山の荒廃

社会インフラ

- ・ 道路、農業用水路、ガス、水道、下水道の老朽化
- ・ 公共交通の縮小、撤退

教育環境

(出典) 総務省「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「市区町村別将来推計人口」

①小中学校の状況

		今	10年後	20年後	30年後	40年後
		2019年	2030年	2040年	2050年	2060年
小学校	磯部小学校	42	41	32	25	17
	能生小学校	172	113	88	64	48
	南能生小学校	25	16	14	12	8
	中能生小学校	40	33	27	23	15
	木浦小学校	15	16	11	9	5
	能生地域小計	294	219	172	133	93
	下早川小学校	73	60	49	36	24
	大和川小学校	194	128	98	73	51
	西海小学校	88	58	44	35	24
	糸魚川東小学校	278	180	133	101	73
	糸魚川小学校	448	206	134	86	53
	大野小学校	70	34	11	7	4
	根知小学校	41	11	7	4	2
	糸魚川地域小計	1,192	765	575	410	280
	田沢小学校	221	129	97	77	55
青海小学校	119	91	70	52	40	
小学生計		1,826	1,204	914	698	498
中学校	能生中学校	185	119	93	75	52
	糸魚川東中学校	139	107	79	62	43
	糸魚川中学校	449	324	237	179	133
	青海中学校	165	122	92	70	54
中学生計		938	672	501	386	282

20年後、小学生
は半減

40年後、小学生
は1/3以下
市内全体で1学年
80人程度

教育環境

(出典) 総務省「国勢調査」

国立社会保障・人口問題研究所「市区町村別将来推計人口」

②高等学校の状況

	今	10年後	20年後	30年後	40年後
	2019年	2030年	2040年	2050年	2060年
高校生計	1,072	625	465	357	313

【参考（令和2年度予定募集定員）】

糸魚川高校 200人（※5学級→4学級へ減？も）

糸魚川白嶺高校 120人

海洋高校 80人 1学年定員 400人

・各学校とも児童・生徒数は、10年後に約4割減少し、20年後には、現在の5割未満となる。



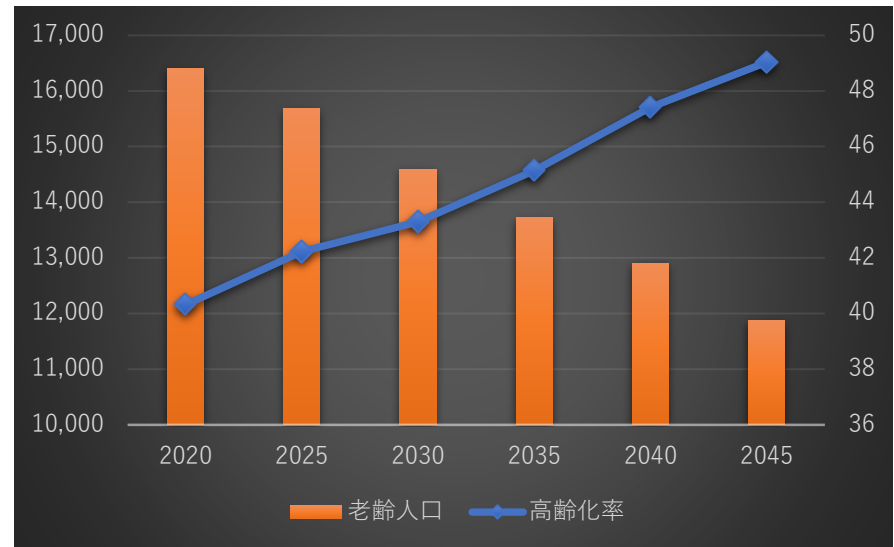
高齢化の状況

2020年4月1日現在

高齢化率

地区	全年齢			65歳以上			高齢化率
	男	女	計	男	女	計	
浦本 集計	389	407	796	177	230	407	51.13%
下早川 集計	932	1,011	1,943	391	469	860	44.26%
上早川 集計	278	278	556	147	166	313	56.29%
大和川 集計	1,824	1,864	3,688	597	778	1,375	37.26%
西海 集計	967	970	1,937	352	403	755	38.98%
大野 集計	723	836	1,559	249	412	661	42.40%
根知 集計	440	463	903	211	277	488	54.04%
小滝 集計	46	57	103	31	48	79	76.70%
今井 集計	187	196	383	88	107	195	50.91%
糸魚川 集計	6,963	7,113	14,076	2,065	2,739	4,804	34.13%
磯部 集計	652	741	1,393	291	359	650	46.66%
小泊 集計	208	236	444	95	135	230	51.80%
能生 集計	1,217	1,233	2,450	400	492	892	36.41%
西能生 集計	491	443	934	171	175	346	37.04%
中能生 集計	651	761	1,412	250	400	650	46.03%
上南 集計	335	342	677	154	187	341	50.37%
木浦 集計	372	334	706	158	185	343	48.58%
田沢 集計	2,279	2,414	4,693	776	1,073	1,849	39.40%
青海 集計	1,182	1,312	2,494	421	609	1,030	41.30%
歌外波 集計	131	143	274	70	85	155	56.57%
市振 集計	166	196	362	70	110	180	49.72%
総計	20,433	21,350	41,783	7,164	9,439	16,603	39.74%

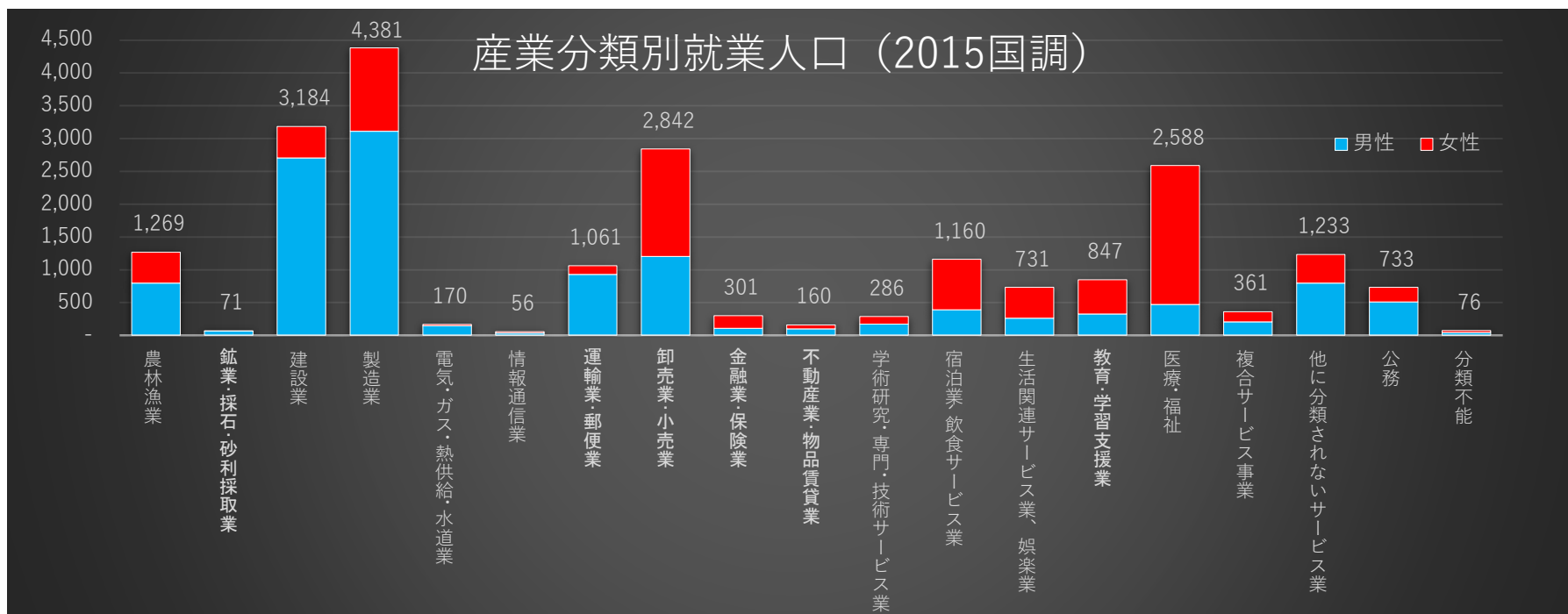
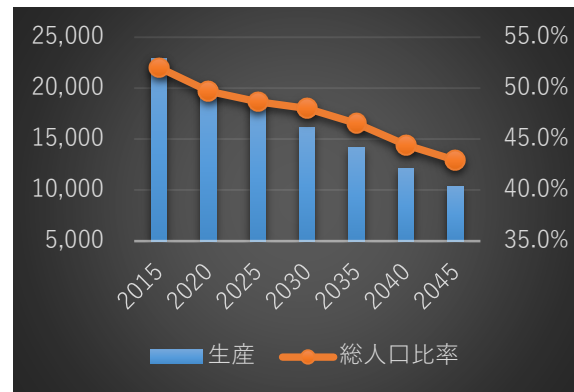
区分／年	2020 (R2)	2025 (R7)	2030 (R12)	2035 (R17)	2040 (R22)	2045 (R27)
高齢人口	16,408	15,686	14,594	13,722	12,902	11,869
総人口	40,696	37,151	33,704	30,402	27,211	24,201
高齢化率	40.32	42.22	43.30	45.14	47.41	49.04



生産年齢人口の減少

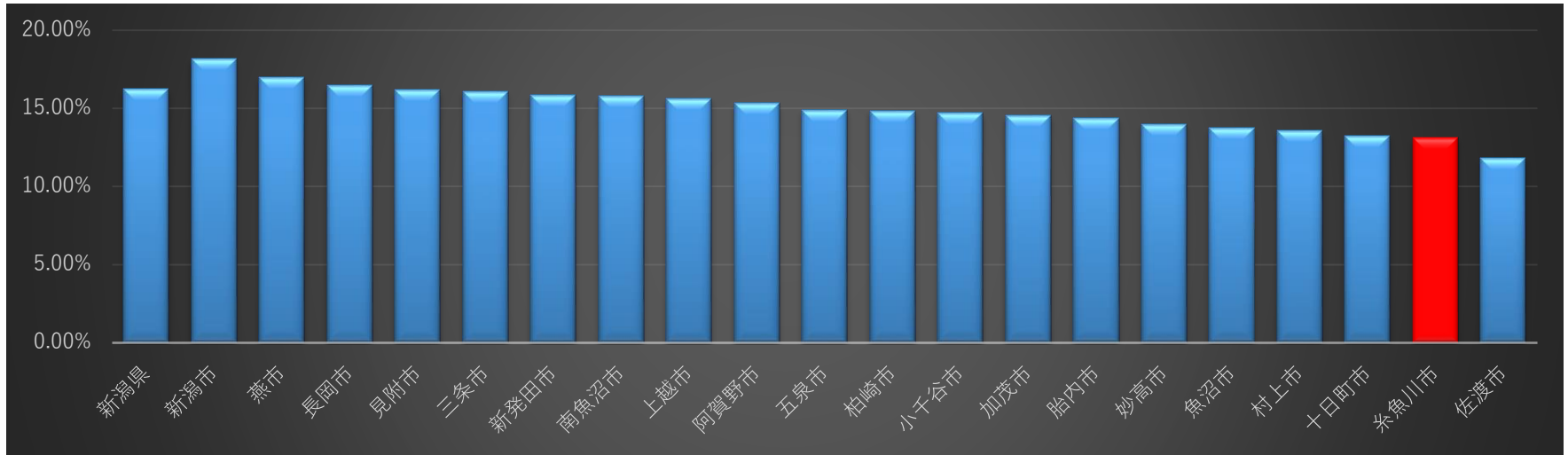
生産年齢人口

	2015	2020	2025	2030	2035	2040	2045
生産年齢人口	22,972	20,222	18,086	16,182	14,151	12,087	10,389
増減 (対2015比)		△ 2,750	△ 4,886	△ 6,790	△ 8,821	△ 10,885	△ 12,583
総人口比率	52.0%	49.7%	48.7%	48.0%	46.5%	44.4%	42.9%

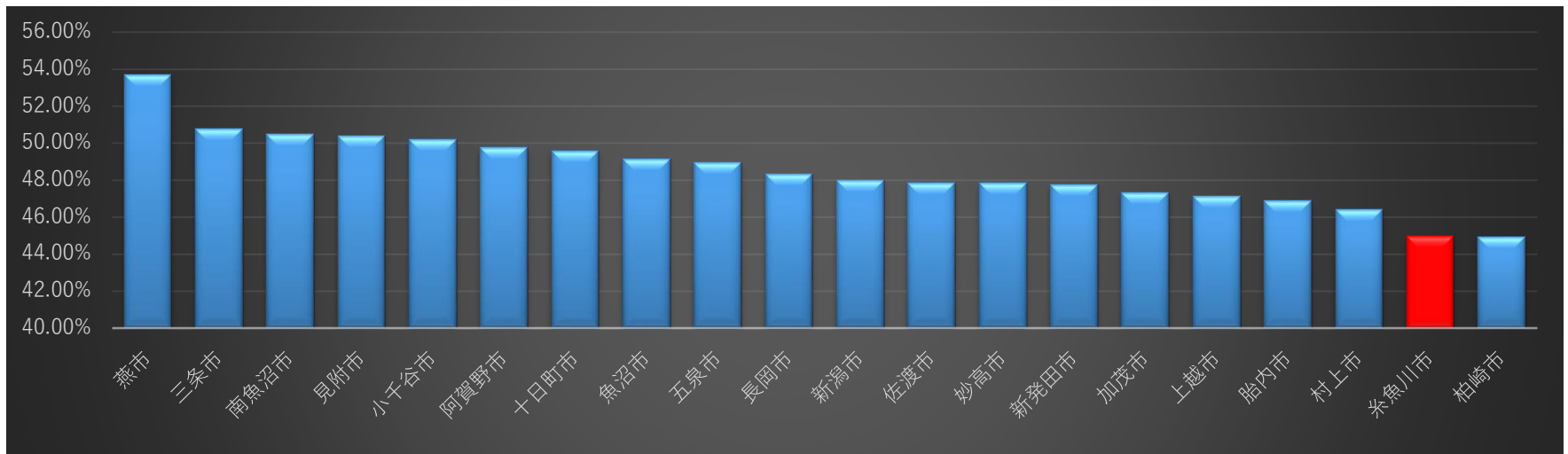


女性の就業状況

20代~40代女性人口比率



20代~40代女性就業率



地域経済の縮小

(糸魚川市としての経済規模)

○ 1世帯当たり年間品目別支出金額
(2人以上の世帯)

世帯人員 3.16人

3,659,955円

出典：家計調査年報（平成30年）北陸地方 総務省統計

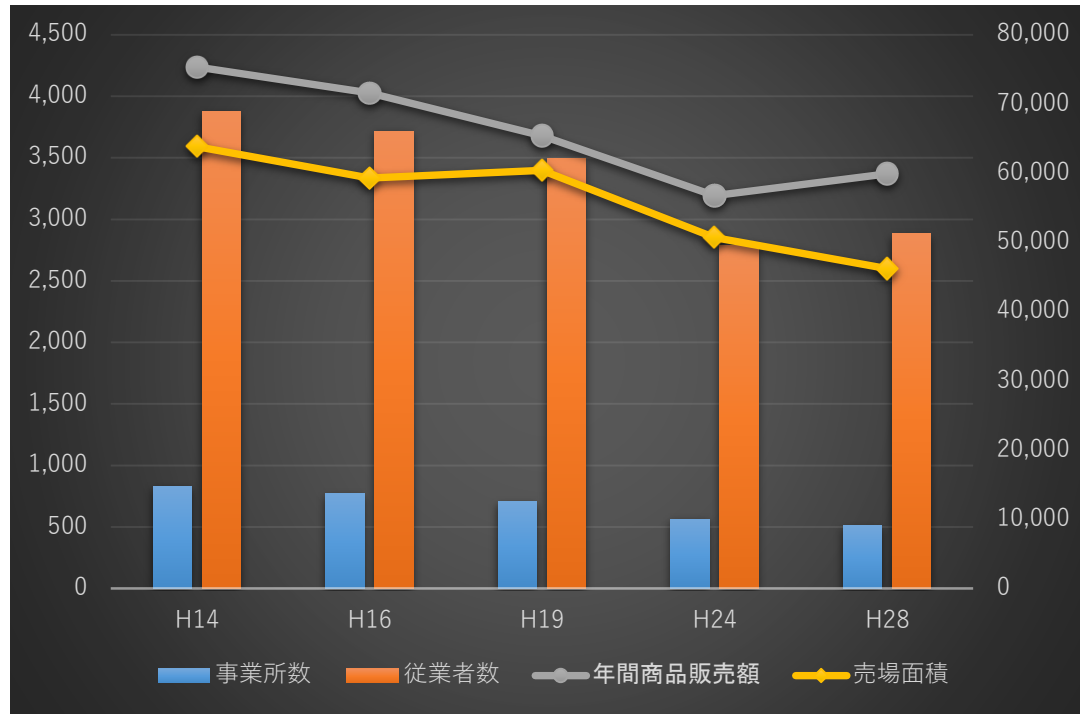
品目分類	支出金額（円）	備考
食料	999,532	
住居	1,471,125	家賃、設備修繕等
光熱・水道	530,683	
家具・家事用品	1,374,459	テレビ、洗濯機、エアコン等
被服及び履物	1,318,865	
保健医療	1,249,005	診療代、医薬品等
交通・通信	1,157,000	定期代、自動購入、電話等
教育	132,912	授業料、教科書等
教養娯楽	329,838	テレビ、パソコン、旅行代等
その他の消費支出	662,683	

1人あたり約150万円
1万人減れば、
150億円が消える！

商業の状況

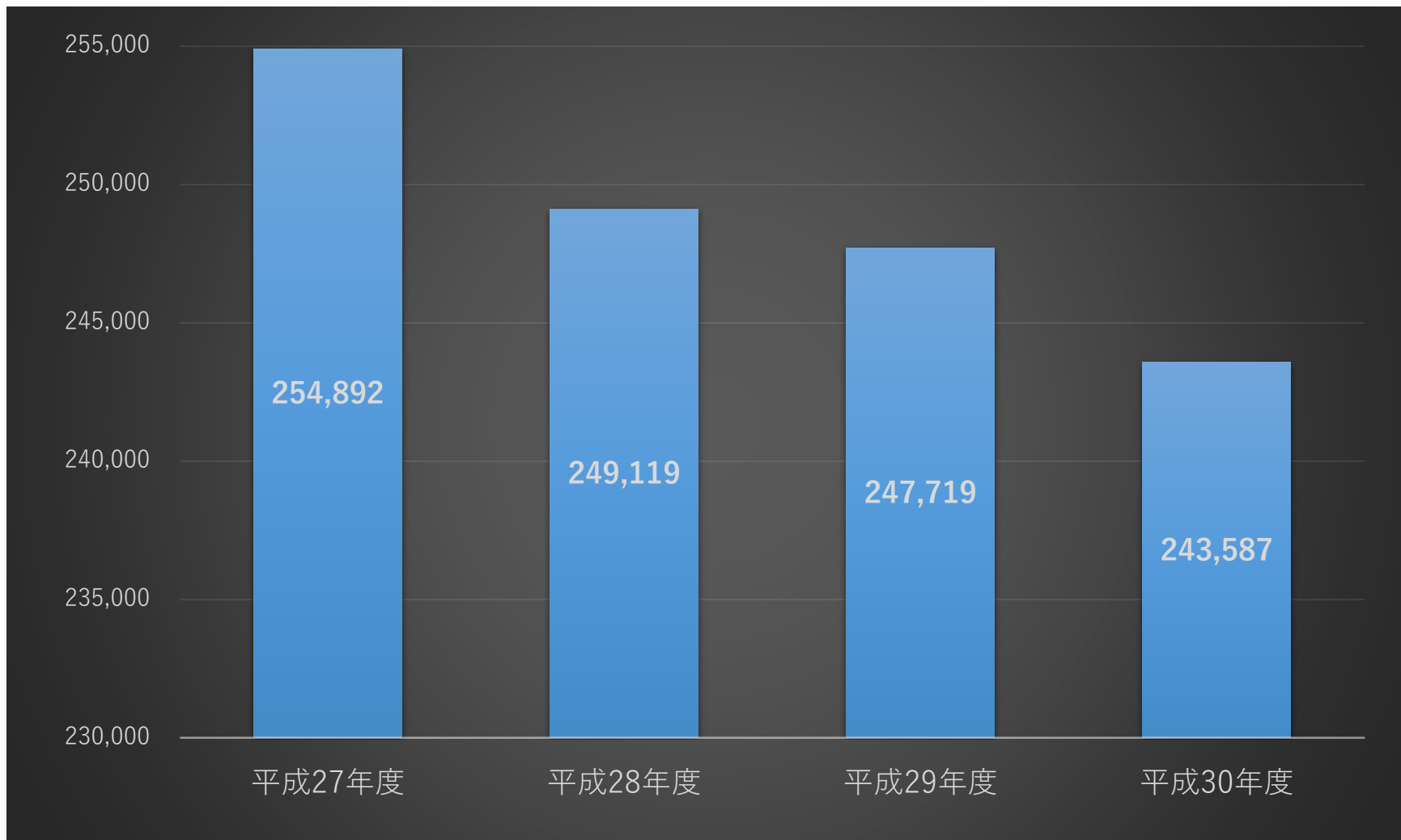
事業所数、従業者数の状況

	事業所数	従業者数	年間商品販売額	売場面積
H14	833	3,874	75,330	63,854
H16	773	3,717	71,588	59,312
H19	709	3,492	65,419	60,402
H24	563	2,787	56,763	50,715
H28	512	2,882	59,926	46,213



地域医療・福祉体制の維持

糸魚川病院の診療実績(外来+入院)



税収減による行政サービスの低下

市民1人あたりの市の歳入（収入）

市民税 約 40,000円

交付税 約145,000円（国からの支援）

例えば・・・

■ H30.4 ⇒ H31.4 人口 約760人減少

市の歳入 1億4千万円の減収

■ 10年後（2030年） 人口 約10,000人減少

市の歳入 **約19億円の減収**

人が減っても施設（建物や道路等）の維持管理経費は変わらない
高齢化により、社会保障経費の増加が見込まれる

何ができるか？

人口規模別自治体数

	5千 未満	5千 ～1万	1～ 3万	3～ 5万	5～ 10万	10～ 30万	30～ 50万	50～ 100万	100万 以上
2015	249	230	429	239	257	196	47	24	11
2045	444	230	399	188	195	154	41	21	10

